

6年

## Unit 4 My summer Vacation

---

### 単元の特徴・付けたい力

単元目標：夏休みの出来事や感想を発表することができる。

本単元では、夏休みの出来事や一番の思い出について友達と語り合う活動や紹介する活動などを通して、過去を表す表現や感想を伝える表現を学ぶことを目標としている。


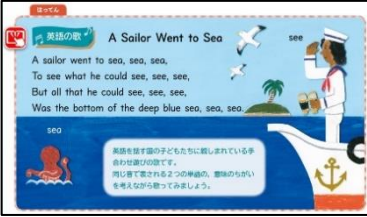


リリーや和希、将太の夏休みの出来事の動画を視聴し、夏休みの出来事の言い方や感想を伝える表現を知る。そして、チャンツやポイントティングゲーム、カードマッチングなどを使って過去形や感想の表現を定着させる。また、「夏休み思い出インタビュー」の活動を通して、自分と同じことをした友達を見つけたり、一人一人の夏休みの過ごし方や感じ方の違いを理解したりすることができる。さらに、夏休みの一番の思い出とその体験をどう感じたかを発表したり、ポスターを作成したりすることで、自分の考えや気持ちなどを、内容を整理した上で発信できる力を育成する。

### ICTの活用について

学習者用デジタル教科書を使用することで、個人のペースで各々の苦手な発話を繰り返し練習することができる。また、英語で話されていることを理解しようとする「主体的な学習」を促進することになる。

- A：動画(Story)を視聴し、コミュニケーションの目的や場面、状況など（コミュニケーションの必然性）を理解し、興味関心を高め、語句や表現についての確認が容易にできる。
- B：個人でデジタル教科書を繰り返し視聴することで、ネイティブ・スピーカーなどが発話する音声の確認、英語独特のリズム、音声や過去形の表現に気づくことができるよう、定着・練習することができる。
- C：個人のペースや理解度に合わせて繰り返し視聴し、主体的に個別に確認したり、練習したりすることができる。
- D：Let's play や Let's try を視聴することで、言語活動の仕方の理解を補足する。
- E：chants や Hop は、個人で繰り返し活動を行い、基本的な表現の定着を図ることができる。
- F：World Tour の動画で児童に異文化への気づきを与え、外国への興味関心を抱かせる。
- G：児童が作成したポスターや発表をタブレットで録画し、それをクラス全体で視聴し感想などを共有することができる。

全時学習活動（全 8 時間）

時	主な学習活動 ◆デジタル教科書の活用場面	・デジタル教科書の活用ポイント ★デジタル教科書（指導者・学習者用）を活用する効果
1	<p>【Hop】単元の大まかな内容をつかむ。</p>  <p>◆Story</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Story を全体で視聴して、リリー、和希、将太の 3 人で、どんな場面や出来事が話題になっているのかを予想する。</li> <li>・英語の歌「A Sailor went to Sea」(p.58)を視聴し、夏を感じられるよう配慮する。また、go ではなく、過去を表す went を使っていることやその違いに気づくことができるようにする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>★Story でコミュニケーションの目的や場面、状況など（コミュニケーションの必然性）の理解を補足することができる。</li> <li>★音声の確認、英語独特のリズムや過去形の表現に気づくことができる。</li> </ul>
2	<p>【Step 1】夏休みのできごとの言い方を知る。</p>  <p>・「A Sailor went to Sea」(p.58)の歌を視聴し、過去を表す表現 went の音声に慣れ親しむようにする。</p> <p>◆Let's watch や Let's Listen など、教科書の設問を中心に聞き取る活動を行う。</p> <p>Let's watch：リリーが行った場所としたことを選ぶ。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>★コミュニケーションの目的や場面、状況など（コミュニケーションの必然性）を理解し、この単元で活用できる語彙や表現についての確認が容易にできる。</li> <li>・Summer festival, hiking など必要な単語や過去を表す表現を何度も聞き、音声と文字に慣れ親しむ。</li> </ul>

Let's Listen : ニックとアーシャが行った場所としたことを選ぶ。



◆Story で、リリー、和希、将太の 3 人が行った場所やしたことを指し示しながら視聴する。

・発音やリズム、イントネーション、語と語の連などによる音の変化、表現をモデルとし、児童の発話の練習につなげる。

3 【Step 1】 夏休みのできごとをたずね合う。

◆Hop を活用したポインティングゲームや Let's chants (「I went to the mountains.」 p.52)で、単語や過去を表す表現の定着を図る。



◆ Let's play や Let's try を視聴し、内容を整理して話すことの大切さに気づかせながら、夏休みの思い出をたずね合う活動をする。

・気づいたことを書き込むようにする。さらに、グループやペアで、「たずね合う」時のより良い表現や工夫を意見交流することに活用する。

・うまく発話できない箇所を、ペアで確認し、各々の苦手な発話を繰り返し練習する。また、ペアの一人が発話し、もう一人がジャッジをするなど、コミュニケーション練習にも活用する。

★4 【Step 2】 夏休みのできごとの感想を伝える言い方を知る。



◆Story を視聴して、リリーや和希が行った場所やしたこと、感想(It was fun. It was difficult. But it was fun.)を伝える言い方を知る。

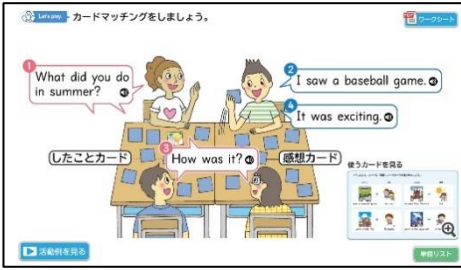


◆Let's watch や Let's Listen など、教科書の設問を中心に聞き取る活動を行う。

◆Let's chant. 「It was great.」を視聴し、感想の語彙や表現を理解する。



★Let's watch で、デジタル教科書の発音や表現をモデルに、自分が発話する時に活用できる語句や表現などを確認し、書き込みをすることができる。

・発表に向けて、各々の苦手な発話を繰り返し練習する。

<p>5</p>	<p>【Step 2】夏休みのできごとの感想をたずね合う。</p> <p>◆Let's chant. 「It was great.」を視聴して、感想をたずね、伝える言い方の定着を図る。伝える言い方の[ It was great. ] の <u>great</u> を自分の感想に置き換えて発話するなど、自己表現活動につなげる。</p> <p>◆Let's play (カードマッチング) や Let's try (夏休みの思い出インタビュー) の活動を視聴し、友達に夏休みのできごととその感想についてインタビューをする。</p> 	<p>・わからない語句や表現を確認する。また、より良いインタビューするために、気づいたことを書き込むようにする。</p> 
<p>6</p>	<p>【Jump!】夏休みのいちばんの思い出と、その感想について考える。</p> <p>◆World Tour を視聴し、世界の友達と自分の夏休みの過ごし方と比較する。</p> <p>◆Let's chant.で、いちばんの思い出と感想について考えるために必要な語句や表現の復習をする。</p> <p>◆Let's listen and read を視聴しながら、聞き取る活動と文字を読む活動を行い、適切なポスターの写真を選ぶ。</p> 	<p>・各々の苦手な発話を繰り返し練習し、定着を図るようにする。</p> <p>・児童が発表したい「夏休みの思い出」について、教科書に出てくる語句や表現などを活用する。</p> <p>★デジタル教科書をモデルに、ポスター作成に向けて、自分が発表したい「夏休みの思い出」の内容や工夫することなどについて、書き込むことができる。</p> <p>・自分が発表したいことを書き込むことで、「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。</p>
<p>7</p>	<p>【Jump!】夏休みのいちばんの思い出と感想を発表する。</p> <p>・児童が自分のいちばんの思い出と感想について作成したポスターや発表をタブレットで録画する。</p>	<p>・相手にうまく伝えることができるよう、発表を工夫して、グループやペアで話し合うことができるようにする。</p> <p>★You can do it! の活動例を視聴し、発表の仕方について大切なことについて気づかせ、それを書き込むことができる。</p>
<p>8</p>	<p>【Jump!】友達の夏休みのいちばんの思い出と感想を読む。</p> <p>・友達が投稿した動画をクラスで視聴し合い、感想を伝え合う。</p>	<p>・Story を視聴して、これまでの復習をする。</p>

★4 時の指導計画例      めあて：夏休みのできごとの感想を伝える言い方を知ろう。      表現：It was fun.

◆ICT・デジタル教科書の活用場面	◇学習活動・指導上の留意点 ★デジタル教科書（指導者・学習者用）を活用する効果
<p><u>導入</u></p> <p>Small Talk：「ALT の夏休みの思い出」</p> <p>◆ALT は、実際の写真をモニターなどに映して、児童を会話に巻き込みながら話す。また、デジタル教科書の写真を提示しながら、児童が容易に理解できる語句や表現を使用して話す。（went, enjoyed, delicious, great 等）</p> <p>(例)</p> <p>ALT: Did you enjoy your summer vacation?    HRT: Yes!</p> <p>ALT: Did you enjoy your summer vacation?</p> <p>S1: Yes!    S2: So-so.</p> <p>ALT: During my summer vacation, I went to summer festival with my family. It was fun. I saw very beautiful fireworks. I ate ice candy. It was delicious. Did you go to summer festival?</p> <p>HRT: _____</p> <p>S: _____</p>	<p>◇ALTの先生の夏休みの思い出を聞いて理解し、相槌が打てたり、会話の中で ALT の先生の質問に答えたりすることができるようにする。</p> <p>◇夏休みのできごとの感想を伝える言い方に気づかせ、簡単な表現である It was fun.などを Small Talk で使えるようにする。</p> <p>◇ALT⇔HRT, ALT⇔Student から、Student⇔Student の会話ができるように、児童が活用できそうな語句や表現をデジタル教科書で提示する。</p> 
<p><u>展開(1)</u></p> <p>◆【全体】Let's watch を視聴して、英語キャンプに行った和希の感想を聞き取り、理解する。</p> <p>◆Story を視聴して、リリーや和希が行った場所としたこと、感想(It was fun. It was difficult. But it was fun.)を伝える言い方を知る。</p> <p><u>【個別】個人でデジタル教科書の Story を視聴し、伝える言い方を理解する</u></p> <p>Mr.Hanai: What did you do in summer, Lily?</p> <p>Lily: I went to Australia.</p> <p>Mr. Hanai: Oh, Australia? Exciting. What did you do there?</p> <p>Lily: I enjoyed whale watching. I enjoyed surfing, too.</p> <p>Ms. Miller: Sounds great.</p> <p>Mr. Hanai: <u>How was it?</u></p> <p>Lily: <u>It was fun.</u> I saw my grandparents, too. <u>That was great.</u></p>	<p>◇Let's watch (p.54) を見て、和希の感想に焦点を当て、fun, difficult の語句を確認し、理解できるようにする。</p> <p>◇Story の中で、感想を話している箇所を視聴し、語句を確認し、理解できるようにする（下線部分）。</p>  <p>★Story や Let's watch を個別に視聴し、練習することができる。</p> <p>個人のペースで速度を変えたり、何度も視聴したりして、デジタル教科書の発音や表現をモデルにして、自分が発話する時に活用できる語句や表現などを確認する。</p> <p>◇個人のペースで、各々の苦手な発話を繰り返し、発表に向けて、練習することができるようにする。</p>

◆Let's listen

【個別】先生たちの夏休みをデジタル教科書の音声で聞いて

- ①【全体】Unit4 の表現・単語を児童と一緒に確認する。
- ②タブレットを使用して、指導者が示す語句を指差し、その語句を聞いて確認する。

展開(2)

◆【全体】Let's chant. [It was great.] のデジタル教科書で、  
(活動例 1)

A: I went to Kumamoto. I saw the castle.

B: How was it ?

A: It was great.

のチャンツを発話しながら、教科書紙面にあるイラストを捜して、指し示す。

(活動例 2)

B の部分を聞いて、A パートの最後の部分 A: It was great.を発話する。

(活動例 3)

【個別】表現や語句が定着できるように、デジタル教科書で繰り返し練習する。また、児童自身のことでも A パートの行った場所、そこでしたこと、感じたことをチャンツのリズムに乗せて発話する。

GOAL : 音声なしのチャンツのリズムで、自分のことに置き換えて発話する。

まとめ：学習を振り返り、次時の見通しをもつ。

振り返りカードに、今日の学習について記入する。

◇登場人物と感想を表す語句 (exciting, fantastic, interesting など)について、理解し、使用できるようにする。

◇It was great. It was delicious. It was beautiful. の表現が使えるイラストを指し示す。

◇基本的な夏休みの思い出の紹介や感想などの語句や表現を定着させるためにチャンツで繰り返し活動する。

★教科書に自分のことを書き込み、表現を整理することができる。



◇本時の内容理解や児童のモチベーションを測る評価のほか、デジタル教科書やタブレットの活用に関する良かった点や改良点を児童が評価できるような内容とする。